

# あきた 市議会だより

No.140

平成22年  
11月16日



きりたんぼ作りで秋田の食文化を学んで食べて一石二鳥！  
(上新城中学校 まんたらめでの一日若杉体験学習)

9月定例会の概要…………… 2～3P

議員定数を39人に改正

公営企業会計決算を認定

一般質問…………… 4～6P

常任委員会の審査から…………… 7P

提出した意見書、請願・陳情の結果…… 7P

議会からのお知らせ…………… 8P

発行／秋田市議会

編集／あきた市議会だより編集委員会

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

電話 018(866)2233 FAX 018(865)7857

ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/council/>



市の家族・地域の絆づくり  
キャラクター「テツテ」

この冊子は、単価1部9.765円です

# 9月定例会の概要 9月9日～10月1日

9月定例会では、秋田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する件などの条例案6件、市道路線を廃止する件などの単行案3件、補正予算案4件をすべて可決・承認したほか、公営企業の決算3件を認定しました。また、請願2件を採択、1件を趣旨採択、陳情1件を採択し、議員提案による意見書案3件を可決したほか、秋田市公平委員会委員の選任などの人事案2件に同意しました。さらに、21年度秋田市一般会計および特別会計歳入歳出決算認定の件が上程され、決算特別委員会を設置し、閉会中に審査しました。

## 主な議案

### 予算

国・県の補助内示に伴う事業および国の緊急雇用対策事業などにより編成されています。

#### 1 国・県補助等関連事業

**障害者福祉施設整備費補助金**  
重症心身障がい者生活介護サービスマシンの創設について、補助内示に伴い増額補正します。  
・補正額 140万円

**地域包括支援センター等機能強化事業**  
地域包括ケアを推進するため、地域包括支援センターのコーディネート機能の強化や地域課題に対応した課題解決の仕組み作りを行います。  
・補正額 360万1千円

**生活保護業務関連システム導入経費**  
厚生労働省が開発した生活保護業務データベースシステムおよび生活保護版レセプト管理システムを導入するため、システム改修と関連機器を購入します。

・補正額 872万7千円

**児童福祉施設整備費補助金**  
保育所入所待機児童の解消を図るため、既存私立保育所の増築、新規私立保育所の創設に対する施設整備費を補助します。  
・補正額 2億9千993万7千円



保育所に整備費を補助します

**ごみ処理施設運営費**  
秋田県が整備している秋田空港アクセス道路の工事に伴い、秋田市総合環境センターの水道埋設管等が支障となるため移設します。  
・補正額 1千16万9千円

#### 民有林振興対策事業

森林における気象害等の被害状況を把握する森林整備地域活動について、林業事業体に助成します。  
・補正額 350万円

**県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金**  
22年7月29日から30日の豪雨により発生した豊岩小山字狐森地内のがけ崩れについて、秋田県が急傾斜地崩壊対策事業として行う法面工事費用等の2割を市が負担します。  
・補正額 400万円

#### 2 国の緊急雇用対策関係等事業

**地域包括支援センター運営体制強化事業**  
地域包括支援センターに相談支援専門職のバックアップを行う事務職員を雇用します。  
・補正額 621万9千円

**まちあるき観光ルート開発事業**  
観光客が街中を、観て・食べて・触れて歩くことなどを楽しむ「まちあるき観光」を新たな観光スタイルとして確立し、観光誘客を図ります。

・補正額 1千898万4千円

**卒業生データベース更新経費**  
秋田公立美術工芸短期大学の卒業生の勤務先、作家活動情報等のデータベースを更新し、在学生の進路支援に活用します。  
・補正額 196万9千円

#### 3 その他の事業

**税制改正関連システム変更経費**  
22年度税制改正のうち、個人住民税の賦課方法の一部改正に係る個人住民税オンラインシステムの改修を行います。  
・補正額 378万円

**秋田市シルバー人材センター貸付金**  
シルバー人材センターの再建計画を進め、運営の健全化を図るため貸付けを行います。  
・補正額 2千万円

**オフセット・クレジット制度導入経費**  
市有林の持つ二酸化炭素吸収力に着目し、計画的な間伐を対象としてオフセット・クレジット制度の導入を目指します。



秋田公立美術工芸短期大学

※オフセット・クレジットとは、環境省のオフセット・クレジット制度に基づき、CO<sub>2</sub>を吸収する側が発行するクレジット(信頼性のある吸収量)を、削減したい相手方との間で売買によって相殺(オフセット)することです。

・補正額 113万7千円

### 秋田公立美術工芸短期大学4年制大学化検討経費

秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化や公立大学法人化について、外部有識者の意見を聴取するため、高等教育関係者や市内経済界、芸術・文化関係団体の代表者等により構成する委員会を設置・開催し、市長への提言を受けます。

・補正額 286万5千円

### 予防接種事業

新型インフルエンザワクチン接種について、非課税世帯者への費用の全額免除および65歳以上の方への費用の一部助成を行います。

・補正額 9千121万1千円

### 上新城中学校統合関係経費

飯島中学校へ統合する上新城中学校において、閉校式を行います。

・補正額 66万5千円

## 条例

### 秋田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正

議員の定数を42人から39人に改めるため、改正しました(詳細は8ページ参照)。

・施行期日 公布の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から

### 秋田市雄和糠塚地区民間資本活用施設条例の一部を改正

秋田市観光施設再編方針に基づき、雄和糠塚地区民間資本活用施設の一部を廃止するため、改正しました。

・施行期日 22年11月1日から

### 秋田市火災予防条例の一部を改正

複合型居住施設用自動火災報知設備を設置した施設に係る住宅用防災警報器等の設置の免除について定めるため、改正しました。

・施行期日 22年12月1日から

## 決算

21年度秋田市一般会計および特別会計歳入歳出決算認定の件については、決算特別委員会において、10月12日から15日までの4日間で審査しました。12月定例会で委員長報告、質疑、討論、採決を行う予定です。

また、3つの公営企業の決算認定の件が提案され、いずれの決算も認定されました。各企業の21年度事業報告の概要についてお知らせします。

### 病院

#### ・利用状況

入院延患者数 13万4千398人  
(前年度比1.4%増)  
外来延患者数 29万1千726人  
(前年度比0.6%増)

#### ・財政状況

収入については、受診抑制傾向が続く中、地域の医療機関

との病診連携強化による患者確保や診療体制の充実を図り、入院収益では前年度比1.3%増加し、外来収益についても前年度比0.3%増加したことなどにより総収入は前年度比0.4%の増加となっています。

一方、支出については、薬品費の減少や経費等の節減に努めたことにより、全体で前年度比0.6%減少し、損益では、2億8千362万5千円の純利益が生じています。その結果、累積欠損金は2億9千855万円となっています。

### 水道

#### ・給水状況

給水世帯数 13万3千40世帯  
(前年度比1千42世帯増)  
給水人口 32万1千120人  
(前年度比1千53人減)  
普及率 99・1%

#### ・財政状況

収入面では、経営の根幹をなす給水収益が、厳しい経済状況や節水器具の普及などにより、前年度比1.4%の減となりましたが、支出面において、公的資金補償金免除繰上償還の活用などにより企業債利息が減となったことや、諸経費の節減に努めた結果、5億1千394万6千円の純

利益が生じ、全額を利益剰余金に計上しました。

### 下水道

#### ・普及状況

処理区域内面積 5千530ha  
(前年度比83ha増)  
処理区域内人口 28万6千142人  
(前年度比1千45人増)  
普及率 88・5%

#### ・財政状況

収入面では、経営の根幹をなす下水道使用料が、厳しい経済状況や節水器具の普及などにより、前年度と比較して0.7%の減となっていますが、支出面において、公的資金補償金免除繰上償還の活用などにより企業債利息が減となったことや、諸経費の節減に努めた結果、5億3千232万6千円の純利益が生じ、全額を利益剰余金に計上しました。

## 人事

### 公平委員会委員

安田 幸男 氏(再任)

### 人権擁護委員

星川 豊一 氏(新任)

# 聞きました

市政全般にわたり、  
8人の議員が質問しました。  
本会議での質問者順に、質問項目および  
主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

## 秋水会 岩谷政良

◇市長の政治姿勢◇秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化◇新庁舎建設基本構想◇中通一丁目地区市街地再開発事業◇防災対策◇教育環境◇公共交通機関◇住宅リフォーム支援

### 新庁舎のグラウンドデザインは

**問** 新庁舎は、周辺建築物との調和を考慮しつつ、市民に親しみを持たれるような新たな機能を備えるべきと考えますが、どのようなグラウンドデザインを描いているのですか。

**答** 建ぺい率などの建築要件や防災拠点としての機能のほか、市民に親しみを持たれる庁舎とするための新たな機能として、多目的スペースなどの市民の活用スペースの設置やユニバーサルデザインの導入等を検討します。その具体については、議会や市民の意見を踏まえた上で、22年度に策定する新庁舎建設基本構想に盛り込んでいきます。

### 秋田公立美術工芸短期大学の 4年制大学化は

**問** どのような考え方に基づいて4年制大学化を本格的に検討することとしたのですか。

**答** 高等教育機関として最も重要である人材育成を確実に達成するためには、2年間では不十分であると考えます。また、大学間競争の激化、美短の就職決定率の低下等の課題を解決し、全国的に名の通った高等教育機関にするとともに、芸術・文化を生かしたまちづくりを進めるためには、4年制大学化が最も効果的な手法であり、さまざまな懸案材料を考慮しても、なおメリットの方が大きいいため、本格的に検討することを決断しました。

## 市民クラブ 花田清美

◇財政◇家庭系ごみの有料化◇秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化◇社団法人秋田市シルバー人材センター◇秋田拠点センターアルヴェ管理組合◇財政援助団体等に対する監査体制◇南部地域の諸課題

### グラウンドゴルフ場の整備を

**問** 秋田県農業試験場移転跡地にグラウンドゴルフ場を整備すべきではありませんか。

**答** グラウンドゴルフは、河川敷や公園等で自由にコース設定ができ、手軽に楽しめるとともに、健康と体力づくりにも寄与する生涯スポーツです。現在、本市には2カ所の専用グラウンドゴルフ場がありますが、新たな施設の整備については、財政事情を勘案するとともに、今後の競技人口の推移等を見極める必要があると考えています。新たに設置する場合には、同跡地も含め地域的なバランスも考慮しながら検討していきます。



太平山リゾート公園グラウンド・ゴルフ場

## 家庭系ごみの有料化には 市民の理解と協力を

**問** ごみの有料化について、市民の合意をどのように得ていくのですか。また、手数料収入の見込みはどのようになっているのですか。

**答** 有料化を円滑に実施するためには、市民の理解と協力が必要なことから、市内30会場で55回の説明会を実施するとともに、パブリックコメントや市民100人会も活用しながら、広く市民の皆様から意見を伺い、実効性のある制度にしていきます。手数料収入については、本市の家庭系ごみの組成調査の結果と、同規模の中核市の事例から試算し、おおむね3億円程度と見込んでいます。

## フォーラム21 佐原孝夫

◇市政経営◇中通一丁目地区市街地再開発事業◇港湾を取り巻く諸課題◇平和の尊さの認識と平和行政の推進

### 中通一丁目地区市街地再開発事業 の成立性は

**問** 本再開発事業については、国の事業仕分けによって国庫補助金に影響が生じる可能性があるなど、事業の成立性に疑問が残っているため、取りやめるべきではありませんか。

**答** 本再開発事業においては、権利変換計画が認可され、補助金や銀行融資が確定し、既に転出補償も実施されています。また、保留床処分についても、県・市が設置する公共公益施設をはじめ、商業施設と住宅棟の処分先も確実であり、事業の成立性は確保されていることから、今後とも、着実に推進していきます。

# 市政について

## 小型船舶係留における課題の解決を

**問** 秋田港および秋田運河で暫定的に行われている小型船舶の係留期限は23年3月までとなっておりますが、小型船舶の係留は今後も増加が予想されることから、係留について抜本的な解決策を講じるよう、県に働きかけるべきではありませんか。

**答** 県では、災害時に被害拡大の恐れがあることや、秋田マリナー入艇者との間の経済的不公平感の解消を図ることなどを理由として暫定係留の期限を定めています。本市としても、秋田マリナーに移動したくても利用料金が高くて移動できないという意見があることや、暫定係留の期限が切れた後、マリナーの収容能力が足りなくなることなどの問題点について把握しており、これらについて県と協議をする中で申し入れをしていきます。



秋田マリナーに係留されている小型船舶

## 公明党秋田市議会 成沢淳子

◇市長の政治姿勢◇行政改革◇高齢者所在不明問題等◇介護保険制度◇がん対策の取り組み◇食育◇観光振興◇教育行政◇災害対策

### 子宮頸がん予防の対策を

**問** 本市においても、子宮頸がんワクチン接種費用助成を早期に検討するべきではありませんか。

**答** 子宮頸がん予防ワクチンは、10歳代前半に接種すると効果が高いといわれていますが、その費用は3回の接種で5万円前後と高額であり、任意接種のため自己負担となっています。既に県ではワクチン接種の費用助成を検討するとし、国でもワクチン接種の費用助成に取り組む方針を打ち出しています。本市としても、定期予防接種化を国に要望していくとともに、国や県の動向を注視しながら、助成のあり方について検討していきます。

### 介護保険料の抑制を

**問** 介護保険の公費負担割合を5割から6割へ引き上げ、介護保険料を抑制する施策を国に強く求めていくべきではありませんか。

**答** 本市が23年度に策定する次期介護保険事業計画においては、高齢化による給付費の自然増に加え、介護職員の処遇改善のための介護報酬アップ等の影響により介護保険料額が大幅に増えるものと予測しています。現在、国の社会保障審議会介護保険部会において、制度を今後も持続可能にするため、保険給付の50%である公費負担割合の引き上げを含めたさまざまな財源確保の方策について審議しており、本市としては、このような動向を慎重に見極めていきます。

## 社会・市民連合 藤田正義

◇市長の政治姿勢◇秋田市総合計画◇財政◇環境問題と家庭系ごみの有料化◇事業仕分け◇がん対策◇新型インフルエンザ◇国民健康保険◇生活保護◇学校の統廃合と廃校後の校舎の活用◇市職員の地域活動への参加◇新成人のつどい◇まちづくり

### 新成人のつどいの見直しを

**問** 新成人のつどいについて、雇用問題など若者を取り巻く環境が厳しい中、成人の日にこだわらず、軽装で参加できる時期に開催するなどの見直しをする考えはありませんか。

**答** 新成人が喜びを共有し、市民に祝福されていることを実感できるように、教育委員会では事業内容や実施時期、会場など、そのあり方について検討しているところです。今後は新成人をはじめ、さまざまな立場の方から考えを伺いながら検討します。なお、22年度は、成人の日に市立体育館で開催する予定です。

### 生活保護受給者への自立支援は

**問** 稼働年齢層にある生活保護受給者の自立支援のため、保護申請後の就労指導および保護適用後の就労支援について、どのように取り組んでいるのですか。

**答** 保護申請時には、求人情報の提供やハローワーク秋田への同行訪問等により早期就労に向けた助言、指導を行っています。また、保護開始後は、ハローワーク秋田と連携した就労支援事業のほか、母子世帯自立支援専門員と就労支援専門員の配置により就労支援対策を強化しています。その結果、17年度から本年8月末までに198人が就労し、26世帯が保護廃止となっています。

# 市政について聞きました

日本共産党 加賀屋千鶴子  
秋田市議会議員団

◇市長の政治姿勢◇秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化◇地域経済の振興◇子ども・若者育成支援推進法の具体化と発達障がい者の支援◇市の業務にかかわる官製ワーキングプアをなくすための対策◇家庭系ごみの有料化

## 家庭系ごみの有料化ではなく ごみ減量のための方策を

**問** ごみの有料化により、市民に新たな負担を強いるのではなく、分別の徹底、生ごみ減量、資源リサイクル率の向上など、市民協働であらゆる努力をすべきではありませんか。

**答** これまで、ごみ減量・リサイクルを推進するため、ごみ減量キャンペーンや資源化物の分別回収、資源集団回収のほか、学校と連携した環境教育などに取り組んでいます。しかし、ごみ減量の意識が市民に浸透していないこともあり、有料化導入の有無にかかわらず、今後も啓発活動を続ける考えです。

## 住宅リフォーム助成制度の創設を

**問** 建設業をはじめ、関連業種にも経済効果が見込まれる住宅リフォーム助成制度を市として今こそ実施すべきではありませんか。

**答** 県が秋田県住宅リフォーム緊急支援事業を継続することで、本市の建設業等にさらなる経済波及効果が見込まれると考えています。市としては、今後の経済状況や県の動向ならびに本市の財政状況等を総合的に勘案し、実施の必要性や導入する場合の時期などについて引き続き検討します。

秋水会 工藤四郎

◇秋田市総合計画◇佐竹知事と穂積市長の公約◇新庁舎建設◇職員の地域貢献◇市営墓地◇雄物川のごみ対策◇使用済み小型家電リサイクル事業◇農林水産業の振興

## 次期総合計画の基本構想は

**問** 第11次総合計画の基本構想をどのように総括し、次期総合計画にどのように反映するのですか。

**答** 第11次総合計画の基本構想や5つの分野別将来都市像は、市長の目指す「元氣な秋田市づくり」とその本質部分で大きく異なるものではないと認識しており、それぞれの施策についても、おおむね順調に推移しているものと判断しています。そのため、第11次総合計画の分野別将来都市像は、次期総合計画においても継承するとともに、施策体系についても、その達成状況を踏まえながら必要な見直しを行い、より実効性の高い計画を目指します。

## 新庁舎建設工事の発注は

**問** 新庁舎建設工事は、本市に本社がある地元企業にすべて発注すべきではないですか。

**答** 新庁舎は、これまでの行政機能のほか、市民の利活用スペースや防災拠点施設などの新たな機能を加え、市民に親しまれ、市民共有の財産として次世代に引き継がれる庁舎を目指しています。庁舎建設は大事業であり、地元経済に貢献できるようにしなければならぬものと認識しています。22年度は事業手法や地元経済への波及効果についても検証し、その結果や基本設計等を見極めながら、発注のあり方について検討します。

秋水会 小木田喜美雄

◇市政運営に対する市長の基本姿勢◇環境行政◇観光政策◇秋田市エイジフレンドリーシティ構想の推進◇中央卸売市場の地方卸売市場への転換◇中心市街地の活性化◇地域の諸課題

## 今後の経済・雇用対策は

**問** 経済・雇用対策について課題を整理した上で、今後どう取り組んでいくのですか。

**答** 経済対策としては、商工業振興条例の改正などにより、地元中小企業や誘致済企業への支援を強化しています。雇用対策としては、国の基金事業を活用し雇用創出に取り組んでいます。国が、時限的な措置であるため、国の動向を注視し、効果的な対策を迅速に実施する体制づくりに努めます。今後は、即効的な雇用効果が期待できる企業誘致活動、意欲ある地元企業等へのきめ細かな支援のほか、農工商連携による内需型産業や観光ビジネスなどの振興を図り、多面的に取り組めます。

## 超高齢社会に備え目指すものは

**問** 秋田市エイジフレンドリーシティ構想について、実現に向けた基本的な考え方とその目指すものはどのようなものですか。

**答** 高齢者はこれまで社会の少数派として支えられる側とされてきましたが、超高齢社会の到来に備え、高齢者がさまざまな場面で能力を発揮できるよう、社会のシステムの再構築を図るとともに、高齢者への意識そのものを転換させることが最も重要と考えています。そのため、市民一人ひとりが自分自身の問題として高齢社会に向き合い、理解を深める、「高齢者にやさしい都市」を目指します。

## 常任委員会の 審査から

9月定例会の各常任委員会  
で交わされた質疑応答の中から主  
なものを掲載しています。

### 総務委員会

**問** 秋田公立美術工芸短期大  
学4年制大学化検討チーム中間報  
告における現状分析はおおむね  
妥当と考えますが、美短の課題  
と今後の方向性については、結  
論を急いでいる感があります。  
また、25年4月開学という目安  
を市長が示していることを勘案

すると、秋田公立美術工芸短期  
大学4年制大学化検討経費は、  
4年制大学化ありきの予算であ  
ると受け取らざるを得ませんが  
どうですか。

**答** 25年4月を目安に4年制大  
学化を目指していますが、さま  
ざまな社会経済状況の動きなど  
があり得ることから、4年制大  
学化ありきで進めるわけにはい  
かないと考えています。結論に  
ついては、今後、有識者委員会  
での意見を踏まえて大学像をつ  
くり上げ、コストや財政負担に  
ついて精査し、財政計画などと  
照らし合わせた上で判断してい  
きます。

### 厚生委員会

**問** 後発医薬品の使用につい  
て、医療費抑制面で効果が期待  
されていますが、市立病院にお  
ける経営面を含めたメリット、  
デメリットはどうですか。

**答** 現在、当院では、約1千500  
品目の薬を使用しており、その  
うち約8.9%が後発医薬品となっ  
ています。後発医薬品の使用に  
ついては、国の医療費抑制政策  
の一つとして推奨されています  
が、医療機関側としては、薬効  
面、供給面および情報不足の問  
題から使用しづらい状況となっ  
ています。このことから、国が

示す目標値の達成は、今のところ  
困難な状況にあります。D  
PC（診療群分類包括評価制度）  
や患者の負担軽減も考慮し、効  
果等の確認ができたものについ  
て、できる限り使用していくよ  
う心掛けています。なお、経営  
面においては、後発医薬品の使  
用により、約6千500万円の経営  
効果が表れています。

### 教育産業委員会

**問** 秋田市シルバー人材セン  
ターの再建に向けて、これまで  
以上に同センターの事業全般に  
対するチェック体制を強化すべ

きではありませんか。  
**答** 毎月の会計と毎年度の決算  
の確認を税理士に委託するほ  
か、監事による例月監査を実施  
します。また、同センターと商  
工部による運営のための協議を  
四半期ごとに行う予定です。

### 建設委員会

**問** 水道事業における給水収益  
が年々落ち込んでおり、今後、  
人口減少などにより水需要が落  
ち込む中で、新たな需要を喚起  
し、利益を確保するような経営  
戦略はありますか。

**答** 給水人口の減少に加え、環  
境問題に伴う節水意識の高まり  
もあり、将来的に水道の使用量  
が増えることは見込めません。  
また、ペットボトルなどにより  
水を販売することも調査・研究  
をしましたが、他都市の事例で  
も、一部を除いて基本的には宣  
伝用であり、本市で実施しても  
利益は期待できません。収益を  
確保するには料金の見直しとい  
うこともありますが、そのよう  
な社会情勢でもなく、今のところ  
は、収入に見合うよう支出の  
面で縮減を図っていくことを考  
えています。

## 意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、国会および関係行  
政庁に提出しました。

- 免税軽油制度の継続に関する意見書
- 司法修習生の給費制の存続に関する意見書
- 米価の大暴落に歯どめをかけることに関する意見書

## 請願・陳情の結果について

### ◎採 択 請 願

- 免税軽油制度の継続に関する意見書の提出について
- 米価の大暴落に歯どめをかけることに関する意見書の提出について

### 陳 情

- 司法修習生の給費制の存続に関する意見書の提出について

### ◎趣旨採択 請 願

- JR 追分駅駐輪場の整備について

### ◎不採択 陳 情

- 非核三原則の法制化に関する意見書の提出について

### ◎継続審査 陳 情

- 印刷物の発注について
- 子宮頸がん予防ワクチン接種への公費助成について
- 中通一丁目地区市街地再開発による仲小路の直線街並み分断中止について
- 秋田市土崎国道7号下水道本管改修工事の緊急施工について
- 秋田市文化会館と中央公民館の運営（活動拠点）の正常化について
- 牛島児童館の移設について

## 一問一答方式を 導入しました

定例会の本会議で行っている代表質問および一般質問では、

これまで、すべての項目を議員が一括で質問し、それに対して市当局が一括して答弁する一括質問・答弁方式で行ってきました。しかし、この方式では、自然な会話と異なることから、傍聴者にとって質問と答弁の関連が分かりにくいことや、論点が不明確になるなどの問題がありました。

このため、議会制度等研究会からの答申（5月1日号掲載）を受け、議会運営委員会で協議した結果、この9月定例会から再質問以降について、一つの項目ごとに質問と答弁を交互に行う「一問一答方式」を試行しました。また、一問一答方式の導入に伴い、これまで、最初の質問を含め3回までだった質問回数を、再質問時間内（代表質問30分、一般質問20分）であれば、何回でも質問できるよう変更しました。

にとつて分かりやすく、また疑義のあるものを納得するまで掘り下げて質問することができ、より論点を絞った緊張感のある議論が行われることが期待されます。



## 議員定数を 39人に削減しました

全国的な経済不況や雇用状況の悪化、さらには人口減少社会の到来などにより、本市財政を取り巻く環境も、市税収入が大幅に減少するなど、大変厳しい状況となっています。

また、市町村議会においては地域の実情に即し、自らの判断により議員定数を削減する傾向が顕著となっています。

議会は市民の多様な意見を吸収し、さまざまな視点から議論する場ではありますが、本市の厳しい現状や将来を考慮し、議会自らスリム化を図るため、定数削減はやむを得ないと判断しました。

そこで9月定例会において、秋田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正し、議員定数を42人から3人削減し、39人となりました。なお、来春の市議会議員の改選時から新定数を適用します。

## リニューアルした 議会のホームページ をご覧ください

市民に開かれた議会を目指し、本市議会では平成10年3月からホームページを開設し、議員の紹介や議会のしくみ、議日程、議決結果など、さまざまな情報を提供しています。また、平成2年以降の会議録を閲覧・検索できるようにしているほか、本会議の録画映像配信、議会だよりのバックナンバーも掲載しています。

8月からは、より利用しやすいホームページとするため、リニューアルしましたので、ぜひご覧ください。

http://www.city.akita.akita.jp/council/



## ケーブルテレビで 議会中継を ご覧ください

年4回開催される定例会の市長説明、代表・一般質問および答弁などについては秋田ケーブルテレビで生中継されています。また、インターネットでの録画映像配信も行っており、市議会ホームページからいつでも議会映像をご覧いただけます。

## 請願・陳情について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しない）の午後5時までに議長あてに提出してください。

なお、請願書の場合には、紹介議員の署名または記名押印が必要となります。

## 議会の動き

| 8月                    | 9月                    | 10月                    | 11月                         |
|-----------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------------|
| 4日 教育産業委員会<br>(閉会中)   | 2日 建設委員会(閉会中)         | 1日 決算特別委員会             | 9日 総務委員会(閉会中)               |
| 26日 議会運営委員会<br>各派会長会議 | 3日 教育産業委員会<br>(閉会中)   | 21日 各派会長会議             | 26日 議会運営委員会<br>行政視察 (27日まで) |
| 27日 厚生委員会(閉会中)        | 6日 各派会長会議             | 1日 決算特別委員会             |                             |
|                       | 9日 9月定例会<br>(10月1日まで) | 12日 決算特別委員会<br>(15日まで) |                             |

## 次回の定例会は

12月の予定です

※ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。  
電話 (866) 2233